

一般演題 2 「普及・背景・その他」

16:30 ~ 17:50

座長：阿部 倫明（東北大学病院 総合地域医療教育支援部）

森實 篤司（HOSPY 腎透析事業部 臨床工学部 統括部長）

OS2-1

在宅血液透析管理に COVID-19 が及ぼした影響と変化のまとめ

渡邊 文雅（医療法人社団 厚済会 上大岡仁正クリニック 臨床工学課）

OS2-2

HD から HHD に移行するに辺り本人の思いを家族に理解してもらうまでの流れに関わった一例

南 剛正（医療法人 社団 三矢会 前橋広瀬川クリニック）

OS2-3

在宅血液透析の日韓協力体制を築く～日韓医療協力の橋渡しをして～

加賀 誠（医療法人小山すぎの木クリニック）

OS2-4

在宅血液透析普及に向けて

吉岡 典子（社会医療法人 川島会 川島病院）

OS2-5

在宅血液透析（HHD）移行による臨床効果の検討

高橋 初（特定医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 臨床工学科）

OS2-6

同居家族の人数は在宅血液透析療法（HHD）選択の障害となるか？

中山 美季（医療法人衆和会 長崎腎病院）

OS2-7

Web による在宅血液透析の介助者訓練

阿部 政利（せいいかいメディカルクリニック NASU）

OS2-8

医学的には在宅血液透析（HHD）が継続困難と判断するも、本人および介助者が継続を強く希望し対応に難渋した例

秦 寛治（坂井瑠実クリニック 臨床工学科）